



試験概要

1 平成27年度大学入試センター試験の主な変更点

(1) 高等学校学習指導要領の改訂に対応した出題科目

高等学校では新しい学習指導要領に基づいて編成された新教育課程の数学と理科の授業が行われています。これを受け平成 27 年度大学入試センター試験から、数学と理科において新教育課程に基づいて試験問題を出題します。ただし、平成 27 年度大学入試センター試験に限り、高等学校卒業等者の旧教育課程履修者のうち希望者に対しては、旧教育課程により出題する科目を受験することができる経過措置を講じます。

このため、履修した教育課程によって受験できる科目が異なりますので、志願者は自分が新・旧いずれの教育課程の履修者に該当するかを次の(2)で必ず確認した上で出願してください。

(2) 「新教育課程履修者」と「旧教育課程履修者」

新教育課程履修者 (数学, 理科)	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成 24 年 4 月に入学し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成 27 年 3 月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成 24 年 4 月に進級し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成 27 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 * 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成 27 年 3 月卒業見込みであるが、入学は平成 24 年 3 月以前の者など、上記に該当しない者

なお、この受験案内では主な用語について、次のように略記します。

- ・平成21年3月告示高等学校学習指導要領に基づいて編成された教育課程（新教育課程）・・・新課程
- ・上記以前の学習指導要領に基づいて編成された教育課程及びその他（旧教育課程）・・・旧課程
- ・新教育課程により出題する科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・新課程科目
- ・旧教育課程により出題する科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・旧課程科目
- ・新教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・新課程履修者
- ・旧教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・旧課程履修者

(3) 時間割

理科の試験時間は 2 つに分かれます。（理科①と理科②）

(4) 数学の登録方法及び試験実施方法

ア 登録方法

出願時は「数学」の受験の有無を登録します。

「数学」を「受験する」と登録した場合、試験当日は数学①と数学②の両方又はいずれか一方の受験ができます。

数学②で「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を受験する場合は、別冊子の配付希望を出願時に登録してください。

イ 試験実施方法

試験当日は、下表①又は②の中から受験科目を選択できます。

なお、平成26年度大学入試センター試験まで出題した「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の各科目は、経過措置としてそれぞれ「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」として出題します。

また、数学①及び数学②の問題冊子には、それぞれ旧課程科目が含まれています。新課程履修者は旧課程科目を選択できませんので、科目選択の際は注意してください。

① 新課程履修者

グループ	新課程科目	科目選択方法
数学①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	左記2科目から1科目を選択
数学②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」	左記2科目から1科目を選択

② 旧課程履修者

グループ	新課程科目	旧課程科目	科目選択方法
数学①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「旧数学Ⅰ」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」	左記4科目から1科目を選択
数学②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	左記3科目から1科目を選択

注 旧課程履修者は、グループごとに新・旧いずれかの教育課程の科目の中から1科目を選択できます。

(5) 理科の登録方法及び試験実施方法

ア 登録方法

下表の科目を参考にして、新課程履修者は科目選択方法 a（選択方法A～D）の中から、旧課程履修者は科目選択方法 a 及び b（選択方法A～D, H, K）の中から1つを選んで出願時に登録します。

グループ	新課程科目	科目選択方法 a	旧課程科目	科目選択方法 b
理科①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	A：理科①から2科目を選択 B：理科②（新課程科目）から1科目を選択 C：理科①から2科目及び理科②（新課程科目）から1科目を選択 D：理科②（新課程科目）から2科目を選択	/	/
理科②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」			

注1 新課程履修者は、旧課程科目を選択できません。

注2 旧課程履修者は、新課程科目と旧課程科目を組み合わせて選択することはできません。

注3 試験当日に科目選択方法を変更することはできません。

イ 試験実施方法

① 出願時に登録した科目選択方法にしたがって、試験当日は受験科目を選択できます。

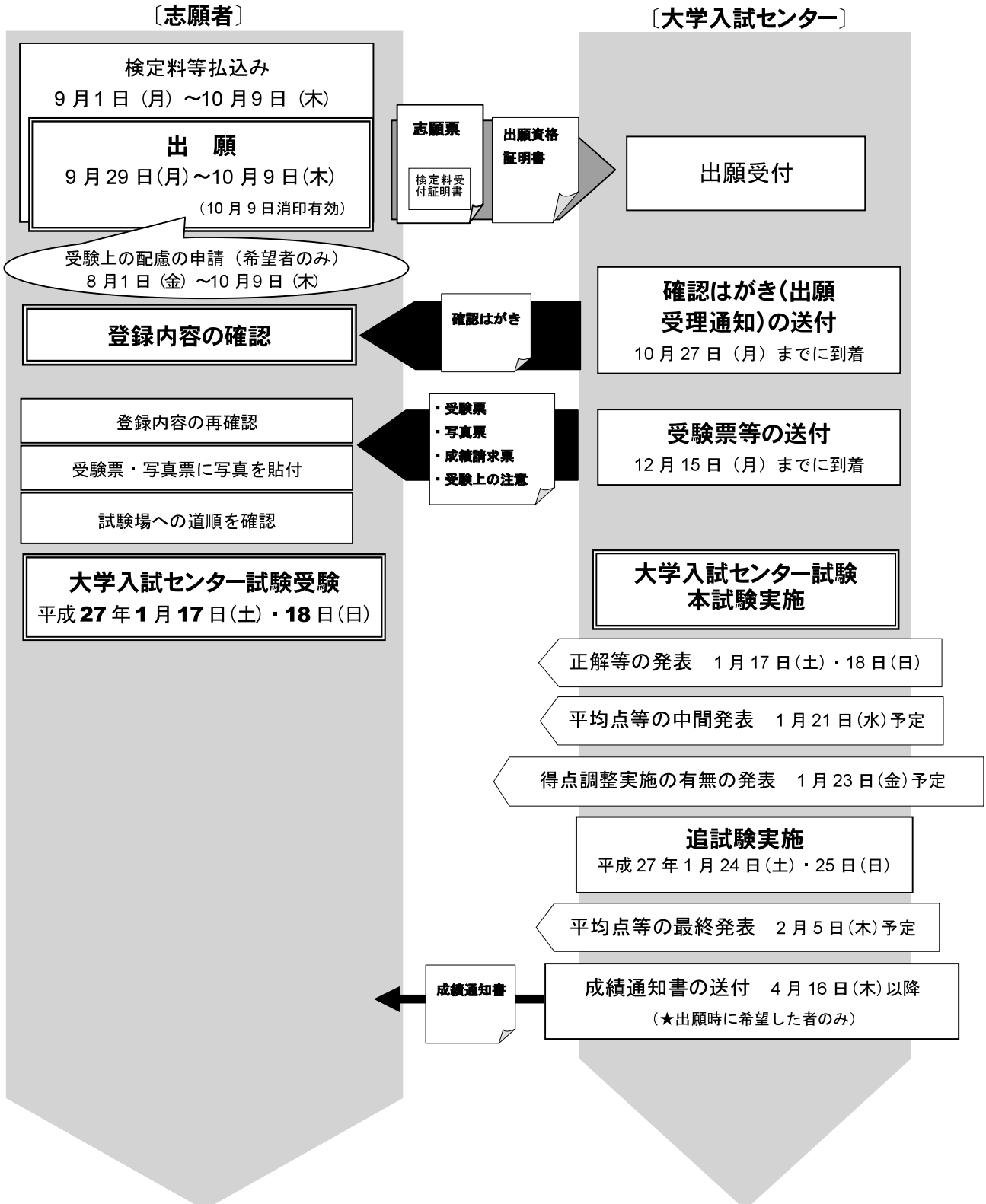
② 理科①は試験時間60分で必ず2科目を選択解答します。その際、解答する科目の順序は問いません。また、解答時間（60分）の配分は自由です。

(6) リスニングで使用するICプレーヤー

平成 27 年度大学入試センター試験から英語リスニングで使用する IC プレーヤーを更新しますので、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）にある「IC プレーヤー操作ガイド」で、操作体験をしてください。

また、ICプレーヤー、音声メモリー及びイヤホンは試験終了後に全て回収します。
 なお、試験の解答方法などは変わりません。

2 平成 27 年度大学入試センター試験実施日程



3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目(→注1)	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (→注2)
国語		『国語』	「国語総合」, 「国語表現Ⅰ」の内容を出題範囲とし, 近代以降の文章, 古典(古文, 漢文)を出題する。(→注3)		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	『倫理, 政治・経済』は, 「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 ただし, 同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。(→注4) なお, 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』			
数 学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は, 「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし, 次に記す「数学A」の3項目の内容のうち, 2項目以上を学習した者に対応した出題とし, 問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率, 整数の性質, 図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し, 解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」※ 『簿記・会計』※ 『情報関係基礎』※	『数学Ⅱ・数学B』は, 「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし, 次に記す「数学B」の3項目の内容のうち, 2項目以上を学習した者に対応した出題とし, 問題を選択解答させる。 〔数列, ベクトル, 確率分布と統計的な推測〕 『簿記・会計』は, 「簿記」及び「会計」を総合した出題範囲とし, 「会計」については, 会計の基礎, 貸借対照表, 損益計算書, 財務諸表の活用の4項目の内容のうち, 会計の基礎を出題する。 『情報関係基礎』は, 専門教育を主とする農業, 工業, 商業, 水産, 家庭, 看護, 情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ただし, ※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	60分(100点)
理 科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し, 解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (→注5)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」には, 一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお, 受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注6)
外国語		『英語』 『ドイツ語』※ 『フランス語』※ 『中国語』※ 『韓国語』※ (→注7)	『英語』は, 「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ただし, ※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

- (注1) 本表中において『 』で記載しているものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- (注2) 国語及び外国語（『英語』を除く。）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語『英語』は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注3) 『国語』の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とします。なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注4) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と『倫理, 政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』の組合せを指します。
- (注5) 理科①については、1科目のみの受験は認めません。
- (注6) 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注7) 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分となります。
- なお、『英語』以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

(2) 旧課程履修者に対する経過措置

数学及び理科の2教科に関しては、平成27年度大学入試センター試験の全ての受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧課程履修者に対しては次ページの(3)「旧課程履修者に対する数学、理科の出題科目等」の経過措置を講じます。

旧課程履修者のうち希望する者は、この経過措置による受験ができます。

(3) 旧課程履修者に対する数学，理科の出題科目等

教科	グループ	新課程により出題する科目	旧課程により出題する科目	旧課程履修者に対する経過措置		試験時間 (配点)
				出題方法	科目選択の方法等	
数 学 (→注1)	①	「数学Ⅰ」	「旧数学Ⅰ」	新課程により出題する「数学Ⅰ」に加え，旧課程による「旧数学Ⅰ」を別科目として出題する。	新課程による出題科目と旧課程による出題科目を合わせた4科目のうちから1科目を選択解答する。	60分(100点)
		「数学Ⅰ・数学A」	「旧数学Ⅰ・旧数学A」			
	②	「数学Ⅱ」		特に措置しない。	新課程による出題科目と旧課程による出題科目を合わせた3科目のうちから1科目を選択解答する。	60分(100点)
		「数学Ⅱ・数学B」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	新課程により出題する「数学Ⅱ・数学B」に加え，旧課程による「旧数学Ⅱ・旧数学B」を別科目として出題する。		
理 科 (→注2)	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		新課程により出題する「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」に加え，旧課程による「理科総合A」，「理科総合B」，「物理Ⅰ」，「化学Ⅰ」，「生物Ⅰ」及び「地学Ⅰ」を別科目として出題する。	次のア，イのいずれかを選択し，解答する。 ア 5ページの表中に示す新課程による出題科目の選択方法A～Dのいずれかの方法により選択解答する。 イ 旧課程により出題する科目の6科目のうちから最大2科目を選択解答する。 なお，受験する科目の選択方法（上記アの場合）又は受験する科目数（上記イの場合）は出願時に申し出ること。	60分(100点)
	②	「物 理」 「化 学」 「生 物」 「地 学」	「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」			1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)

(注1) 旧課程履修者は，数学①と数学②において新課程科目と旧課程科目のいずれかから1科目を選択できます。

(注2) 旧課程履修者は，理科において，新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせることはできません。

4 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目	試 験 時 間 (→注 1, 2)
平成 27 年 1 月 17 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」 「世界史 B」 「日本史 A」 「日本史 B」 「地理 A」 「地理 B」 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」
	国 語	「国語」
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」
1 月 18 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」
	数 学 ①	「数学 I」 「数学 I・数学 A」 「旧数学 I」 「旧数学 I・旧数学 A」
	数 学 ②	「数学 II」 「数学 II・数学 B」 「工業数理基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」 「旧数学 II・旧数学 B」
	理 科 ②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 「理科総合 A」 「理科総合 B」 「物理 I」 「化学 I」 「生物 I」 「地学 I」
		2 科目受験 9:30～11:40 (→注 3) 1 科目受験 10:40～11:40 (→注 3)
		13:00～14:20
		【筆記】 15:10～16:30 ----- 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
		9:30～10:30 (→注 4)
		11:20～12:20
		13:40～14:40
		2 科目受験 15:30～17:40 (→注 3) 1 科目受験 16:40～17:40 (→注 3)

(注 1) 試験室への入室時刻については、受験票 (→p.32) とともに送付する**受験上の注意**において指示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、登録した科目数 (1 又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度 (「地理歴史, 公民」は 9:50, 「理科②」は 15:50) までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 2 解答科目の時間のみ受験することもできません。

第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室はできません (→p.48)。

(注 4) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。1 科目のみの受験はできません。